

5.12 景 観

5.12.1 現況調査

(1) 調査内容

事業計画地周辺における景観の状況を把握するため、現況調査を実施した。調査内容は表 5.12.1 に示すとおりである。

調査範囲は、事業計画及び周辺地形の状況から、事業計画地を中心とする半径約 5km の範囲とした。主要眺望地点の選定理由は表 5.12.2 に、主要眺望地点の位置は図 5.12.1 に示すとおりである。調査地点は、当初 9 地点としていたが、平成 19 年 12 月 14 日付大阪市長意見をうけ、近景の眺望地点（地点 6）を追加し、合計 10 地点とした。

表 5.12.1 調査内容

| 調査対象項目 | 調査範囲・地点 | 調査時期 | 調査方法 |
|----------------|--------------|------------------|---------------------------------|
| 地域の景観特性 | 事業計画地周辺地域 | 平成 20 年 3 月 | 現地踏査 既存資料調査 |
| 主要眺望地点からの景観の状況 | 主要眺望地点：10 地点 | 平成 20 年 4 月 15 日 | 現地調査 主要眺望地点から事業計画地方向の景観写真を撮影 |

(2) 調査方法

現地踏査と写真撮影を実施し、調査地域の現況を把握した。

(3) 調査結果

A) 地域の景観特性

事業計画地周辺は、鉄道ターミナルの集中する交通の要衝にあり、大規模な業務施設、商業施設等が多数立地している。

事業計画地は、「大阪市都市景観条例」（平成 18 年 4 月 1 日改正）に基づき定められた「大阪市景観形成推進計画」（大阪市、平成 19 年）において、都市魅力景観形成地域の中の、「拠点として景観形成を図る地域」に位置づけられており、その取組みの方向性として「これまでの景観施策、市街地開発の進捗状況や周辺市街地の状況を踏まえて、大阪のシンボルや顔といえる都市景観の目標・イメージを明確化させつつ、景観形成に関するルールづくりの検討を行う」こととされている。

B) 主要眺望地点からの景観の状況

現地踏査と景観写真撮影（焦点距離 35mm）を行い、主要眺望地点における景観の状況を確認した。主要眺望地点からの景観写真は図 5.12.2 に示すとおりである。

表 5.12.2 主要眺望地点の選定理由

| 区分 | 番号 | 地点名 | 方向 | 距離 | 選定理由 |
|----|----|----------------|----|--------|--|
| 近景 | 1 | 天王寺Mio前 | 西 | 約0.2km | 事業計画地北側に隣接する主要地方道大阪高石線から事業計画地を望む地点。計画施設の外観や色彩を視認でき、都心部の街路景観における周辺の建物との形態や色調の調和、代表性を確認できる。 |
| | 2 | Hoop北東角 | 西 | 約0.1km | 事業計画地南側に隣接する道路から事業計画地を望む地点。計画施設の外観や色彩を視認でき、周辺の建物との形態や色調の調和、圧迫感の程度を確認できる。 |
| | 3 | 住友信託銀行阿倍野支店前 | 北 | 約0.2km | 事業計画地西側に隣接する主要地方道大阪和泉南線から事業計画地を望む地点。計画施設の外観や色彩を視認でき、都心部の街路景観におけるアーケード商店街等の周辺の建物との形態や色調の調和、代表性を確認できる。 |
| | 4 | エコーアクロスビル前 | 東 | 約0.1km | 事業計画地北側の主要地方道大阪高石線から事業計画地を望む地点。計画施設の外観や色彩を視認でき、都心部の街路景観における周辺の建物との形態や色調の調和、代表性を確認できる。 |
| | 5 | 天王寺公園「天王寺ゲート」前 | 南 | 約0.2km | 事業計画地西側に隣接する主要地方道大阪和泉南線から事業計画地を望む地点。計画施設の外観や色彩を視認でき、ターミナル拠点の景観における周辺の建物との形態や色調の調和、代表性を確認できる。 |
| | 6 | 阿倍野歩道橋 | 南東 | 約0.1km | 阿倍野歩道橋から事業計画地を望む地点。計画施設の外観や色彩を視認でき、街路景観の変化及び圧迫感の程度を確認できる。 |
| 中景 | 7 | 天王寺公園「慶沢園」 | 南東 | 約0.5km | 天王寺公園「慶沢園」から事業計画地を望む地点。日本庭園が手前に広がる。計画施設の外観や色彩が視認でき、眺望景観の変化及び緑の多い文化的景観に与える影響や圧迫感の程度、代表性を確認できる。 |
| | 8 | 四天王寺境内 | 南西 | 約0.9km | 四天王寺境内から事業計画地を望む地点。歴史的な建築物が周囲に広がる。計画施設の外観や色彩が視認でき、眺望景観の変化及び歴史的な建物の多い歴史的景観に与える影響の程度を確認できる。 |
| 遠景 | 9 | なんばパークス | 南東 | 約2.0km | なんばパークスの屋上庭園から事業計画地を望む地点。計画施設の外観や色彩が視認でき、眺望景観の変化の程度及び視認性を確認できる。 |
| | 10 | 大阪城天守閣 | 南西 | 約4.7km | 大阪城天守閣の展望台から事業計画地を望む地点。計画施設の外観が視認でき、眺望景観の変化の程度を確認できる。 |

注) 方向は各地点より事業計画地を望む方向



凡 例

: 事業計画地
 : 景観調査地点

| | | |
|--|--|--|
| 近景域 { <ul style="list-style-type: none"> 1: 天王寺Mio前 2: Hoop北東角 3: 住友信託銀行阿倍野支店前 4: エコーアクロスビル前 5: 天王寺公園「天王寺ゲート」前 6: 阿倍野歩道橋 | 中景域 { <ul style="list-style-type: none"> 7: 天王寺公園「慶沢園」 8: 四天王寺境内 | 遠景域 { <ul style="list-style-type: none"> 9: なんばパークス 10: 大阪城天守閣 |
|--|--|--|

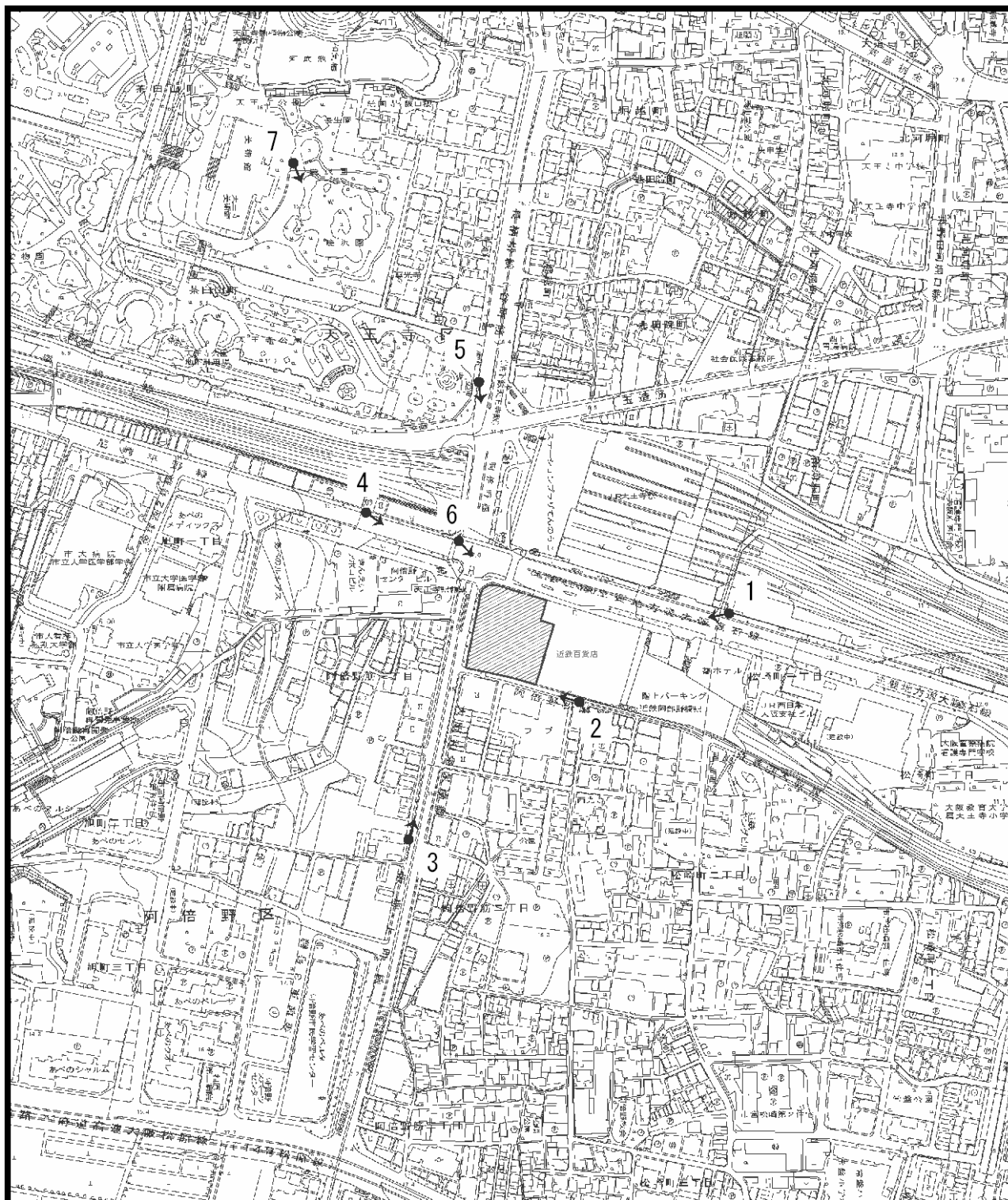
※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。(承認番号 平20近複、第37号)

1:50,000

0 1000 2000m

【国土地理院発行の5万分の1地形図
(大阪東北部、大阪西北部、大阪東南部、大阪西南部)を使用】

図 5.12.1(1) 主要眺望地点の位置



凡 例

▨ : 事業計画地

●→ : 景観調査地点

- 1 : 天王寺 Mio 前
- 2 : Hoop 北東角
- 3 : 住友信託銀行阿倍野支店前
- 4 : エコーアクロスビル前
- 5 : 天王寺公園「天王寺ゲート」前
- 6 : 阿倍野歩道橋
- 7 : 天王寺公園「慶沢園」

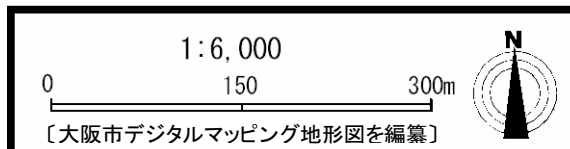


図 5.12.1(2) 主要眺望地点の位置(近景域拡大)

5.12.2 施設の使用に伴う影響の予測及び評価

(1) 予測概要

施設の使用に伴う影響として、建築物の出現が事業計画地周辺の景観に及ぼす影響について、現地調査結果及び事業計画等をもとに予測した。

予測概要は表 5.12.3 に示すとおりである。

表 5.12.3 予測概要

| 予測項目 | 予測地点 | 予測時点 | 予測方法 |
|-----------------------------|--------------|-------|-------------------------------|
| 建築物等の出現による主要眺望地点からの眺望の変化の程度 | 主要眺望地点：10 地点 | 施設完成後 | フォトモンタージュ法により将来景観モンタージュを作成し予測 |

(2) 予測方法

主要眺望地点からの眺望の変化については、建築物等の出現による景観の変化を視覚的にとらえるために、現況調査において選定した主要眺望地点 10 地点からの景観について、事業計画に基づき、事業完了後のフォトモンタージュを作成し、予測した。

本事業における建物の意匠、素材、色彩等の外観デザインの詳細な部分は、計画の熟度に応じ、想定モデルプランとして扱うものとする。

また、事業計画地周辺で進められている事業（阿部野再開発事業（A1-2 棟、A2 棟）、街路事業（道路拡幅）、歩道橋架替事業等）についても可能な範囲で反映させることとした。

(3) 予測結果

各主要眺望地点からの、現況の景観、施設完成後の景観予測図及び眺望の変化の程度は次に示すとおりである。